

二〇二六年度 健和看護学院 国語入試問題

◆◆◆ 解答は、すべて解答用紙に書くこと。 ◆◆◆

一次の文章を読んで、あとの問いに答えなさい。

さて、私は、ある日、フランス語の辞書を見ていて①面白い言葉を見つけた。それは「贈物」という言葉である。贈物というのはフランス語で *cadeau*（カドー）という。この語の来歴について、フランスの辞書は次のようなことを書いていた。つまり、この語は「頭」「首長」を意味するラテン語から *a ha-sei* してきた語で、最初は「大文字」という意味だった。これがしだいに、「話を豊富に面白くするための修飾的な言葉」を意味するようになった。それが十七世紀ごろのことらしい。そして、話を豊かに面白くすることから、今度は「婦人のための気晴らしになるような言葉」という意味をもつようになった。たとえば男が女の気を引くために話題を豊富にし面白い話し方をする。それを称してカドーを女に贈る、というふうに言ったものだろう。それがやがて、「言葉」を夫人に贈るだけでなく、実際に「物」を贈る行為にまで拡大されていったものと思われる。十八世紀ごろからは、カドーという言葉は一般に「贈物」という意味になり、それが現在までずっと続いているというわけである。

私がこれをたまたま辞書で見えて面白く思ったのは、最初言葉について用いられる語だったカドーという語が、やがて「贈物」を意味するようになったことである。われわれが贈物というとき、たいていは物を贈ることを意味する。物に *bタク* して自分の気持ちを贈るのではあるが、相手に渡されるのは大体「物」であるのが普通である。ところがフランス語の贈物という言葉の中には、もと、人を喜ばせ面白がらせる言葉という意味があった。人を喜ばせるために言葉を贈物にするという思想があった。これはなかなか意味深いことのように思われる。

じつは日本でも、古い時代には②そういう思想があった。現代においては言葉を贈物にするという思想は、われわれのなかに自覚的にはあまりないと思われるが、平安時代あたりには、言葉は時に最高の贈物だった。

それはどういう意味かというと、③言葉の贈物が男女の間で決定的な役割をはたすことが多かったからである。もちろん、それは和歌というものを日常の生活 *cヒツジュ* 品としちえた貴族階級のことだが、彼らの間では相手に近づこうとするとき、相手に贈る最も重要な贈物は、歌だった。歌は、一度も顔を見てさえいない女を口説きおとすのに用いられる名刺代わりの挨拶であり、個性と教養の見せ場であり、もちろん誠意の披瀝の道具だった。それに対する女の返歌は、彼女の運命を決定する可能性のある意思表示の唯一の手段だった。

その贈答は直接本人同士が手渡しするわけではなく、使いの少年などを走らせたのだった。歌をしるした手紙は、季節季節に咲いている花の枝とともに相手のもとにとどけられた。花もまた、言葉の補助手段として用いられた。女はそれらを見て、すぐに返しの歌を書く場合もあったし、にぎりつぶすこともあった。男も同様である。何といっても女の方が真剣に相手の歌を見ただろう。歌をよんで、男は実がありそうだとか、才能が非常にありそうだとかの判断を頭の中で真剣に *d反芻* したはずである。

そういう形だったから、これはまことに不安定な求愛であり、返答だった。それで最後に、結ばれなかったりする。女は、幸福になったり不幸になったりする。その運命を決めるべくかわされている歌というのは、したがって、なかなかもって重大な贈物といわねばならなかった。言葉を贈る。その贈物が相手に気に入るか入らないか、それが明日からの生活を左右することにもなった。

ところで、④なぜ言葉のようなものが贈物になり得たのだろうか。思うに、和歌一首一首はじつにささやかなものにすぎない。今日私たちが読むことのできるそれらの歌の数々を読んでもみれば、それらのあまりの平凡さにかえって驚かされるというようなものである。それも当然のことだった。五七五七七、わずか三十一文字の和歌というものは、どんなに工夫してみてもごくわずかな事柄しかいえはしない。けれども、それは一度にはわずかなことしかいえないがゆえに、かえって徐々に相手の言葉に滲透してゆくものとなり、贈答の繰り返しを通じて、しだいにお互いの心が見えてくるという効果が生じたのだった。

われわれが人に贈物をするときのことを考えてみると、この問題は一層よくわかるだろう。つまり、だれかに贈物をする場合、金額の非常に張ったものをいきなり相手に贈りつけたとする。相手の方では驚く。まともな人間だったら、なんてこんなものを贈ってきたのかといぶかしくおもい、迷惑さえ感じるのが普通である。はては逆に疑心暗鬼にさえなるかもしれない。いったいなにを考えてこんなことをするのか、この人は？ 不釣り合いに高価なものを贈るということは、相手を落着かなくさせる点で逆効果でさえあるだろう。ささやかな贈物こそ、かえって人の心を相手に伝える。(略)

たしかに、贈物というのはささやかなものであっていい。ささやかだからこそ、それをもらったほうでは、自分の心の中でそれを暖め、もてあそび、楽しむことができる。大切なことは、まことに平凡な話だが、心がこもっているかないかにあって、物や金額の大小にはない。(略)

「言葉の力」というとき、まず私の *eネットウ* に浮かぶのはこういうことにほかならない。「言葉の力」という題目をかかげた話なら、言葉というものの偉大さをあれこれ強調するにちがいないだろう、と思われるかもしれないが、私はむしろ、言葉というもののささやかさを強調したい。一つ一つの言葉はまことに頼りない、ささやかなものだということを言いたい。しかし、その頼りなくささやかなものの集まりが、時あって驚くべき力を発揮するところに、じつは言葉の昔も今も変わらない⑤偉大な力があるのだった。

問一 二重傍線部 a のカタカナを漢字に直し、漢字はその読みを答えなさい。

問二 傍線部①とあるが、筆者は何を面白いと思ったのか。「こと」につながる形で、本文中から四十五字以内で抜き出し、最初と最後の五字を抜き出さない。(句読点含む)

問三 傍線部②とはどういう思想か。本文中から抜き出して答えなさい。

問四 傍線部③とあるが、実際にはどのような役割を果たしていたか。本文の内容を簡潔にわかりやすく、まとめて説明しなさい。

問五 傍線部④とあるが、それはなぜだと筆者は考えていますか。次の説明文の空欄に入る言葉を、本文中から抜き出して答えなさい。

言葉(和歌)は、

という効果があるから

問六 傍線部⑤とあるが、筆者は言葉のどういった点にあると考えているか。本文中の語句を用いて簡潔に答えなさい。

二 次の敬語の問題について、選択肢のあるものは記号を選び、空欄には適当な言葉を入れて答えなさい。

1 ある件について上司に「知っているか」と尋ねる場合、どのように言うといいですか。

こちらの件については

2 担当者がこちらに向かっている少しの間、訪問者を待たせる場合、どのように言うといいですか。

すぐに

【取引先への訪問】

3 おみやげを手渡しする場合、どのように言うといいですか。

ア よろしかったら、皆様で召し上がってください。

イ よろしければ、皆様でいただいてください。

ウ どうぞ、皆さんで食べてください。

4 相手が見送ってくれたとき、「いいです」と伝える場合、どのように言うといいですか。

こちらで

【電話】

5 指名された自社の人が席にいない場合、どのように言うといいですか。

ア すみません、ちょうど席を立っておるようです。

イ 申し訳ございませんが、席にいないようです。

ウ あいにく席を外しております。

三 次の慣用句・ことわざ・故事の意味として適当なものを語群の中から選び記号で答えなさい。

(1) 1 馬が合う 2 張り子の虎 3 雀の涙

語群	
ア	素性の知れない人
イ	お互いに気が合う
ウ	よくないことが起きそうだと感じる事
エ	非常に変化しやすい事
オ	利口なように見えて実は浅はかな知恵
カ	見かけ倒しな人
キ	物事の進みが遅い事
ク	ほんのわずかである事
ケ	とても貴重な事

- (2) 1 青菜に塩 2 馬の耳に念仏 3 笛吹けども踊らず

語群			
ア	中途半端で役に立たないこと	イ	させようとしても応じないこと
ウ	もどかしいこと	エ	しょんぼりすること
オ	価値がわからなければ何にもならないこと	カ	ききめのないこと

四 次の四字熟語の空欄に入る適当な漢字を一字答えなさい。

- 1 風光明
- 2 粉骨 身
- 3 朝三 四

五 次の語の反対語を、それぞれ後の語群から一つ選び、漢字で答えなさい。

- 1 円満
- 2 顕在
- 3 出家

(語群)	ゲンゾク	ケンオ	センザイ	ニユウシン	ケンアク	センプク
------	------	-----	------	-------	------	------

六 傍線部の例文における意味として最も適当なものを、①～⑤のうちから選び記号で答えなさい。

- 1 思い返せば私は数々の僥倖^{けうしやう}に恵まれていた気がします。
①緊急の事件 ②偶然の幸せ ③不可解な幻想 ④新鮮な感動 ⑤不思議な運命
- 2 スゲー悔しかったがおくびにも出さなかった。
①得意がつて話はしなかった
②好意的な意見を述べなかった
③少しも口に出して言わなかった
④何を聞いても無視していた
⑤退屈そうにあくびをした
- 3 彼はきまり悪^{わる}そうにゴソゴソとテスト用紙を取り出した。
①恥ずかしげに ②思うに任せない様子で ③態度を決めかねて ④思い悩んで ⑤不安そうに

七 (1) 次の作品の作者名を漢字で正しく答えなさい。

- 1 『学問のすゝめ』 2 『檸檬』 3 『暗夜行路』

(2) 次の文は小説の冒頭部分である。作品名と作者名をそれぞれ漢字で正しく答えなさい。

親譲りの無鉄砲で子供の時から損ばかりしている。小学校にいる時分学校の二階から飛び降りて一週間ほど腰を抜かしたことがある。